

「日常授業の改善・充実」で大切にしたいポイント

今年度、置賜教育事務所では、「日常授業の改善・充実」をポイントにして、取組を進めてきました。今回は、学習指導研修会、授業改善プロジェクト事業にご協力いただいた学校の取組をもとに、校内研究を核とした「日常授業の改善・充実」で大切にしたいポイントを整理します。

事後研究会のひと工夫で『日常授業の改善・充実』につなぐ

川西町立玉庭小・中学校

事後研の時間内で成果・課題をすべてまとめることで、研究の共有化、効率化が一層進められています。



成果と課題をその場でまとめる

少人数グループでの話し合い
1グループ3分以内の報告
ホワイトボードの活用

白鷹町立荒砥小学校

具体的な次の一手までを話し合うことで、日常授業の改善・充実につながっています。



次の一手をみんなで考える

少人数グループでの話し合い
ポイントを短冊に記入
全体交流で次の一手を考える

米沢市立興誠小学校

全体会で立ち止まって整理することで、研究の確かな積み上げにつながっています。



全体会で成果と課題を整理する

少人数グループでの話し合い
画用紙1枚に成果と課題をまとめる
次につながるポイントを整理する

飯豊町立飯豊中学校

全職員がまとめにかかわることで、みんなで進める研究につながっています。



バズセッション型で焦点化する

バズセッション型のワークショップ
成果と課題のまとめを輪番制で行う
「私の授業充実宣言」で日常化を図る

小国町立北部小・中学校

ワークショップ後の話し合いで、日常授業の充実につながる具体策が明確になります。



日常化への視点を全体で話し合う

少人数での話し合い
付箋を活用して仲間分け
日常授業にかかわる視点で話し合う

日常授業の改善・充実につなぐ
事後研のポイント

- ・多様な意見を整理する工夫
- ・日常授業につなぐ工夫



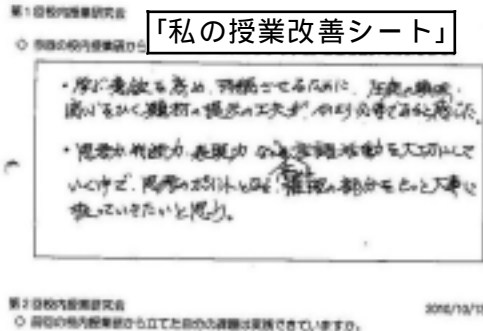
「多様な意見が出るがなかなか深まらない」「多様な意見をまとめるのが難しい」という新たな課題も見えてきています。5校の実践からは、それぞれの学校規模や実情に応じた事後研究会の「ひと工夫」が見られました。日常授業の改善・充実につなぐ校内研究の「ひと工夫」として、参考にさせていただきたいと思います。

『精一杯考え、精一杯表現すること』を大切にした授業づくり

米沢市立第七中学校 「学ぶ意欲を高める指導法の研究」～言語活動を重視した授業づくりを通して～

「言語活動」を核とした共通実践が、どの教科・クラスでも変わらない意欲的な生徒の学びの姿につながっています。

自分の授業とつなぐ工夫



「私の授業改善シート」
事後研究会後に、毎回記入しています。研究推進だよりも紹介しています。自分の授業づくりを見つめ直すきっかけになっています。

考えをまとめ、表現しやすくする手立ての工夫



「授業づくりの基礎基本の重視」
板書や発問の吟味が、確かな生徒の学びにつながっています。
「ワークシートの工夫」「ICTの活用」
次の学びにつながる適切な評価や学習意欲の向上につながっています。

『学びの循環』を大切にした授業づくり

長井市立長井南中学校 「共に考え、自分の思いや考えを表現し合う生徒の育成」～学びの循環づくりを通して～

学びの自立を意識し、学習の成果をフィードバックしていくことが、生徒の学習意欲の向上につながっています。

生徒の気づきを引き出す工夫



「Q - Uテスト結果等の活用」
生徒の実態や課題に応じて生かすことで、より多様な気づきを引き出されます。
「キーワード、VTRの活用」
生徒同士のイメージや気づきが共有化され、学び合いがより深まっていきます。

研究授業の見方の工夫



「具体的な事実で授業分析」
『教師の姿』『生徒の姿』『日常の指導との関連』の3点で話し合うことにより、一人一人の学びの成果や授業づくりの成果と課題がより明確になり、次の授業づくりに生かせる話し合いになります。

今年度、生き生きと学ぶ子どもの姿、自ら学びを求めていく子どもの姿をたくさん見せていただきました。1時間の研究授業で見てきた子どもたちの育ちから、一日一日の授業の積み重ねが大切であることもあらためて感じました。確かな育ちにつながる日常授業の改善・充実のポイントとして、右の3点を重視しています。

授業改善プロジェクト授業研究会の際、山形大学出口毅教授から「実感を伴った授業研究」を行っていくことが全国的な課題になっているとのお話がありました。日頃から子どもたちの成長を共に見つめ、喜び合える雰囲気づくりも大切なのだということあらためて感じました。

「日常授業の改善・充実」のポイント

目標が明確であること
学習活動が目標に迫っていること
次の学びにつながる評価になっていること